

器 48 注射筒
一般医療機器 汎用注射筒 13929001

TSK シリンジ

再使用禁止

文書管理番号 ATT-TSY-J00-00

【禁忌・禁止】

・再使用禁止

・再滅菌禁止

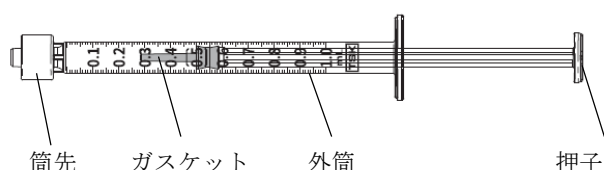
＜併用注意＞

造影剤などの高圧注入に使用しないこと。

【液漏れ、破損等のおそれがある。】

【形状・構造及び原理等】

＜構造図(代表図)＞



＜材質＞

血液・体液に接触する部分の原材料一覧

ガスケット：熱可塑性エラストマー樹脂

外筒：コポリエステル樹脂

潤滑剤：シリコーン油

＜仕様＞

本製品は JIS T 3210(滅菌済み注射筒)に適合するものである。筒先は ISO 80369-7 に適合するロック機構を有している。

【使用目的又は効果】

本製品は、主として注射、又は採液等に使用するための器具である。注射針等に接続し、薬液等を注入又は排出する為に使用する。

【使用方法等】

1. 必要に応じて、あらかじめ手袋を着用する。
2. 開封位置を確認し本製品を包装より取り出す。
3. 注射針等と確実に接続する。
4. 薬液を充填する場合、押子を引くことで薬液を吸引できる。
5. 穿刺部位を消毒し、穿刺を行う。
6. 注射、又は採液等を行う。
7. 注射針を抜去し、必要に応じて止血を行う。
8. 安全な方法で廃棄する。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

1. 他の医療機器と接続する場合は、以下の事項を遵守すること。
 - ・過度な締め付けをしないこと。[筒先に破損、空回りが生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こすおそれがある。]
 - ・接続部分に注射用医薬品又は血液を付着させないこと。[接続部の緩み、空回り等が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こすおそれがある。]
 - ・注射針等のコネクターと接続する際、横方向の力を加えないこと。[筒先に曲がりや破損が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こすおそれがある。]

2. 他の医療機器等との接続部に緩みがないことを確認してから使用すること。
3. 使用中は定期的に破損、緩み、外れ、空気混入、液漏れ、詰りがいいことを確認すること。
4. 押子を操作する際は次の事項を遵守すること。
 - ・押子はまっすぐゆっくり動かすこと。[斜めに動かすと、ガスケットと外筒との密着性が悪くなり、液漏れ、空気の混入又はガスケットが外れるおそれがある]
 - ・外筒の目盛を越えて押子を引かないこと。[押子が外筒から抜けて液漏れが生じるおそれがある。]
5. 本製品に強い衝撃を与えないこと。[破損するおそれがある。]
6. 周辺環境と大きく異なる温度の薬液を充填しないこと。[収縮による充填体積の変化や操作性の悪化のおそれがある]
7. ガスケット部に注射針で傷をつけないこと。[破損が生じ、液漏れ、空気の混入を引き起こすおそれがある]
8. 外筒印刷部については、次の事項を遵守すること。
 - ・目盛をこすらないこと。[目盛が消えるおそれがある]
 - ・注射用医薬品が付いた状態で放置しないこと。[印刷が剥離するおそれがある。]

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- ・事前に容量を確認すること。
- ・併用する注射用医薬品、医療機器の電子添文を確認後、使用すること。
- ・包装が破損・汚染している場合や製品に破損、変形の異常が認められる場合は使用しないこと。
- ・注射用医薬品の種類によっては、外筒内面に塗布されているシリコーン油が析出することがあるので注意すること。シリコーン油が析出した場合は注射用医薬品の電子添文を確認し、適切な処置をとること。
- ・注射針を接続し使用する場合は、針刺しに注意し慎重に取り扱うこと。
- ・包装を開封したらすぐに使用し、使用後は感染防止に留意し安全な方法で処分すること。

【保管方法及び有効期間等】

＜保管方法＞

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避け清潔に室温にて保管すること。

＜有効期間＞

- ・適切な保管方法が保たれた場合、個包装に記載の使用期限を参照すること。[自己認証(自社データ)による。]
- ・保管には十分注意し有効期限を過ぎた製品は使用しないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社タスク

電話：0282-27-0005